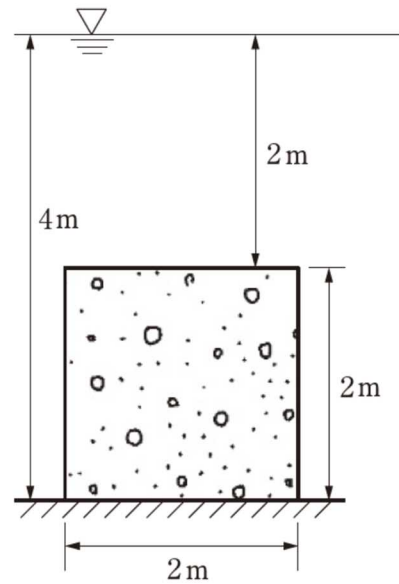


一辺が 2 m の立方体のコンクリートブロックが、図のように水深 4 m の水底に置かれている。このとき、コンクリートブロックの一つの鉛直側面に作用する全水圧はおよそいくらか。

ただし、水の密度を 1000 kg/m^3 、重力加速度の大きさを 9.8 m/s^2 とする。

1. 78kN
2. 118kN
3. 157kN
4. 196kN
5. 235kN



担い手への農地集積・集約化と農地の確保に関する次の記述 A～Dのうちには妥当なものが二つある。それらを選んでいるのはどれか。

- A. 日本の農地面積は、平成 2 (1990) 年に約 520 万ha あったが、令和 2 (2020) 年には、約 440 万ha となった。
- B. 令和 2 (2020) 年の北海道の 1 農業経営体当たりの経営耕地面積は、都府県平均の約 3 倍となっている。
- C. 農地中間管理機構（農地バンク）は、地域内に分散・錯綜する農地を借り受け、まとまった形で担い手へ再配分し、農地の集積・集約化を行っている。
- D. 農地面積に占める担い手への農地集積率は、近年上昇しており、令和元 (2019) 年度末時点で 30 % になっている。

1. A, B
2. A, C
3. A, D
4. B, C
5. B, D